

## 有終の美 平成最後の「第72回卒業証書授与式」

風はまだ冷たいものの、春らしい陽射しに恵まれた3月8日(金)本校体育館において、第72回卒業証書授与式が行われました。今年の4月1日新しい元号が発表され、5月1日からは改元されます。つまり、今回は平成最後の卒業式となるわけです。新しい時代を迎えるこの瞬間に立ち会えることは、幸せなのかもしれませんね。また、14日(木)正午には公立高校の合格発表がありました。3年生全員が志望校に合格することができました。ACタイムの取組や、遅くまで頑張った寺子屋の成果だと言えます。しかし、よく言われるように、高校の合格は人生のスタートラインに立ったにすぎません。入ってからどのような学習に取り組むかで、その後の人生が大きく変わってきます。悩むこともあると思います。しかし、そんなときは友と過ごした9年間を思い出し、困難を乗り越えていってください。良き旅を期待しています。

### 学校長式辞 (抜粋)

新しい舞台に羽ばたこうとしている三年生十五名のみなさん、卒業、おめでとうございます。

皆さんが最上級生となった平成30年度は「主体性」と「協働性」をキーワードに、従来の小木中学校には見られなかった活動に取り組んでもらいました。例えば、家庭学習や長期休業中の補習の進め方をかえました。二学期からは寺子屋も始めました。防災学習では地域防災の原点に戻り、地域の方々との触れ合いを深めることに重点を置きました。

生徒会では、統一目標の設定や、執行部の役割を明らかにして、全体指揮がとりやすいように見直しを図りました。部活動でも、「小木中だけでチームを組むのは最後」となることに意識を向けるようにしました。

学校は、これからの社会を生き抜くための資質や能力を培う場です。そのためには、よりよい指導法を取り入れたり、システムを変更したりすることも必要となります。一方、新しいことを取り入れれば、対立や反発が起こることは珍しくありません。しかし、少々の混乱はあっても、生徒の力を伸ばすのであれば、新しい試みにチャレンジしなくてはなりません。

私はこの学校に来た時から、学習指導や生徒会活動の仕組みを変えていくタイミングを計っていました。そして、当時、まだ二年生であった皆さんの学年が三年生となる時こそが、新しい取組を始めるにはふさわしいと考えるようになりました。それは、貴方たちが「困難を学びに変えることができる学年」と判断したからです。対立を起こしても、それを成長に変えてきた集団であったからです。

皆さんが二年生のころ、物事を決める場面、あるいはその準備の場面では一人一人の考え方や意識の違いによるトラブルがよく起こりました。めざす方向性は同じであるのに、共通の着地点を見つけられず、「諍い(いさかい)」となることもありました。しかし、決して、争ったままで終わるのではなく、「責任」と「役割」を果たすという使命に立ち返り、結束し、成果を上げることでできる集団でした。それまでのトラブルをものともしない表現力に驚き、一つにまとまった時の可能性の大きさを感じていたのは、私だけではなかったと思います。

「この学年は、変化を受け入れ、また小木中学校を進化させてくれる」、そう判断したからこそその三〇年度のシステム変更でした。とは、言うものの、三〇年度が始まってしばらくは、「うまくいかない」、「昨年と違う」といったストレスや不満が表れることもありました。



しかし、苦しい思いをしながらも確実に成長することができました。結果を残してくれました。一人または少人数でもあきらめなかった部活動、野球部は5名の3年生が奮闘し、生徒数五〇〇人を超える学校に競り勝ち、二〇年ぶりの公式戦勝利をつかみました。入場パフォーマンスやダンス、応援そして競技、それぞれの場面で笑顔が溢れた体育祭。三年生の熱意とリーダーシップは、一・二年生にも主体性と協働性がもたらす充実感や一体感の大きさを学ばせてくれました。

三年生の企画を基に地域交流を深めることができた合同避難訓練。自助・公助・共助に加え、近くに住む者同士が助け合う「近助」の大切さを再確認できました。

そして平成最後の文化祭、三年合唱や演劇、有志発表のパフォーマンスの質の高さは観客すべてを魅了し感動させてくれました。文化祭後に、三年生がランチルームで黙々と自習する姿は、学力を高めただけでなく、二年生や一年生の学習の継続に対する意識も高めてくれたはずです。

皆さんが、これから、変化の激しい社会を生きていく中で、上手くいかなないことも少なからずあるでしょう。しかし、「困難や対立は当たり前」と前向きにとらえられるなら、そして、その困難や対立を今まで何度も自分自身の学びに変えてきた経験を思い出せるなら、それは、決して超えられない壁ではありません。

今後は、いろいろな出会いや体験を大切にしながら、「ルールを踏まえて建設的に主張する」、「意見の対立や理解の違いを解決する」、「感情をコントロールする」、言い換えるなら「自律する(自分で自分をコントロールする)力」を磨いていってください。生徒会目標である「前途洋洋」という言葉の様に、皆さんのこれからの人生が明るく開けて、希望に満ち溢れていることを願います。そのためにもこの小木中学校での学びや経験を礎にし、自分自身を成長させていってくれることを期待します。

結びに、『夢』の実現に近づこうとすることが、『自由』という言葉の本当の意味を知ります。そして『夢』に向かって進もうとすればするほど、「感謝」・「挨拶」・「笑顔」の尊さを学びます。言い訳しても解決はありません。卒業生の皆さん一人一人が、自分や社会を真摯に見つめ、解決のための一歩を踏み出せる大人へと成長されることを祈念しています。

能登町立小木中学校 校長 山岸茂樹

## 卒業生答辞 卒業生 新村怜央(抜粹)

二年生の修学旅行では、広島で本物の原爆ドームを目の当たりにし、言葉を失うぐらいの衝撃が全身に走りました。戦争の悲惨さと平和の大切さを学び「今、自分たちでできることは何か」と自分に問いかけるきっかけとなりました。

三年生では、クラスがまとまらないまま体育祭を迎えました。しかし、雨が続き、延期となりみんなとたくさん話し合い、練習できる絶好のチャンスとなりました。本番当日は、勝敗は二の次、最後まで笑顔で終えることができました。

そして、文化祭では念願の合唱の優勝。今年のPTA合唱は男子も女子もPTAのみなさんと一緒になって舞台上上がり、指揮者になったりして…あの一体感や高揚した気持ちは今でも鮮やかに心に残っています。本当に最高の空間、最高の文化祭でした。

部活動では、どの部も部員数は少なかったけれど、少なかったからこそ仲間とのつながりも深まり、仲間がいたからこそ乗り越えられた壁もたくさんありました。

先生方から厳しい言葉をかけられたこともありました。でも、今にして思えばすべて僕たちのことも思っていて言って下さったのだとわかります。また、そばで見守り、育ててくれた家族。時には本心でない言葉で傷つけたこともありました。一言が人を傷つけ、一言が心を温かくしてくれました。僕たちはもう子どもではないけれど、まだ大人にはなりきっていません。どうか温かく見守って下さい。

僕たちは多くの人に支えられ、この日を迎えられることに心から感謝しています。かけがえのない時間を本当にありがとうございました。「さようなら」

能登町立小木中学校 卒業生代表 新村怜央



## 在校生送辞 在校生 二又涼乃(抜粹)

先輩方との思い出は、なんといっても部活動です。時には厳しく、時には優しく見守って下さり、笑い合ったりした日常が私たちにとっては、かけがえのない思い出です。

体育祭では、種目内容の検討、団旗の制作、ダンスの指導など先輩方の「やりきってみせる」という強い意志が伝わってきました。

文化祭では、素晴らしいハーモニーで見事に歌い上げ、優勝。役になり切った迫真の演技。クラスの団結力を高めました。私たちもいろいろなことに挑戦していきたいと思います。

防災活動では、積極的に地域の方々との交流を図り、取組む姿は輝いていました。この小木の伝統を私たちが受け継いでいきます。卒業される皆さんのご活躍とご健康を祈念しています。

能登町立小木中学校 在校生代表 二又涼乃



この他にも、教育委員会告辞として上見正人教育委員様からは、大阪桐蔭高校で春夏連覇を果たし、今年中日ドラゴンズに入団した根尾昂選手のお話をいただきました。主将を任されると思っていた彼は、主将に指名されませんでした。そこで、副主将として、チームを陰から支える役割を果たす決意をし、春夏連覇に導きました。

また、能登町持木一茂町長様からも祝辞をいただきました。柔道競技ではまず受け身から練習する。初めに「負け方」から練習をする。投げられてもケガをしない、また起き上がる、七転び八起きの精神の大切さを教えて下さいました。

小木中学校 PTA 四方崇文会長様からは、小木の歴史と技術革新について話されました。およそ 100 年前、小木の漁師十数名が二隻の小さな船に乗り、はるか遠く、北の漁場を目指し出漁したことから始まりました。また、今後 AI に代表されるような人工知能の発達が予想されます。社会が複雑になることで、より人々の助け合いや協力することの大切さを教えていただきました。

このような、保護者・教員・地域・先輩・後輩などのたくさんのみなさんのサポートに感謝し、充実した高校生活を送ってることが最大の恩返しです。成長した姿を楽しんでいます。



## 春はもうすぐ！とも旗祭りに向けて、準備進行中！

柳田中学校との里山里海交流で、両校の 2 年生が、地域の方々の指導を受けながら、とも旗の作成を行いました。初めは、柳田中の生徒とよそよそしく作業していましたが、そのうち会話も弾むようになり、小木中の生徒が作り方を積極的に教えていました。5 月の乗船体験が楽しみです。



### 【経過】

#### (1) とも旗の歴史講話

①1月23日(水) 5限目 上見 純二 公民館長

#### (2) とも旗づくり

①1月29日(火) 5～6限目

内容 春祭り紙継ぎ・小旗継ぎ

②2月8日(火) 5～6限目

内容 ベタ金作り

③2月13日(水) 5～6限目 内容 短冊づくり・完成

## 武道場の屋根、大修理。効果的な活用を考えよう。

小木中学校の校地内にある武道場は、4月の時点では古い跳び箱や使わなくなったものがたくさん置かれていました。一角は防災訓練のときに使用される備蓄庫があり、武道場自体はあまり有効に使われていませんでした。しかも、雨漏りがある状態で修理が必要な状況でした。そこで校務員の方が中心となり、いろいろな物を廃棄しました。それと共に屋根の大修理が行われました。学校沿革誌を調べると、現校舎

が竣工となったのは、昭和53年（1978年）8月31日、今から41年前です。その間、風雨に耐えてきました。今回の修理で屋根はスカイブルーになりました。どのような歴史が刻まれるのでしょうか。



## 5教科校内コンテスト、漢検・英検結果

今年度のコンテスト・検定もあと20日に行われる計算コンテスト（技能検定）を残すのみ。合格を目指すことはもちろんですが、この取組を通して基礎基本の確実な定着を図ることが、より大きな目標です。日々の積み重ねを大切にしていきましょう！

## 春休みの予定

〔3月〕

22日（金）年度末大掃除

3学期終業式・平成30年度修了式  
生徒会役員選挙立会演説会・投票

25日（月）春休み 朝学習

26日（火）離任式（8：15までに登校）

〔4月〕

1日（月）～3日（水）職員会議

4日（木）新任式 入学式会場準備

5日（金）入学式（13：30～）

各種コンテスト及び各種検定

◆各種コンテスト

	平成29年度				平成30年度			
	合格者	満点者	平均点	合格率	合格者	満点者	平均点	合格率
理科重要語句	25	11	83.8	64.1	7	1	75.5	46.7
漢字コンテスト①	36	13	95.8	92.3	31	22	93.8	79.5
漢字コンテスト②					32	15	93.2	84.2
計算力コンテスト①	30	11	86.1	76.9	29	5	87.3	74.3
計算力コンテスト②					13	1	68.5	34.2
スペリングコンテスト	20	9	75.9	51.3	22	10	79.3	57.9
社会科重要語句	22	7	56.4	56.4	23	10	79.3	60.5

※理科重要語句コンテストは、現在3年のみ実施済み

◆各種検定

漢検は11月2日に実施

		平成29年度				平成30年度（2月21日現在）					
		受検者	合格者	最新	合格	合格率	受検者	合格者	1年	2年	3年
漢検	2級	2	1	4		50.0	1	0	0	0	0
	準2級	3	1	9		33.3	2	1	0	0	1
	3級	14	8	10		57.1	4	1	0	1	0
	4級	7	3	8		42.9	4	3	0	3	0
	5級	2	1	7		50.0	8	6	6	0	0
漢検 全体	28	14	38		46.7	19	11				
英検	準2級			1	1	100.0	3	2(2)			(2)
	3級	7	4	9	5	56.3	6	3(3)			(3)
	4級	10	8	8	6	77.8	14	10(12)	(1)	(9)	(2)
	5級			14	10	71.4	15	12(16)	(9)	(2)	(5)
	英検 全体	17	12	32	16	58.5	38	27(33)			

英検は10月5日/1月25日に実施

数字は今年度の合格数、( )内は2月21日現在の最終的な有資格者数

## 4月の行事予定

日	曜	主な行事予定	日	曜	主な行事予定
1	月	職員会議①	17	水	県基礎学力調査 1・2年生ベネッセ
2	火	職員会議②	18	木	全国学力・学習状況調査 1・2年生ベネッセ
3	水	職員会議③	19	金	生徒総会学級討議
4	木	新任式・入学式準備	20	土	
5	金	始業式・入学式（13：30～）	21	日	
6	土		22	月	
7	日		23	火	前期生徒総会・職員会議
8	月	身体計測・教科書配布・部活動見学・清掃集会・校外生徒会	24	水	郡学教研総会（能都中）
9	火	第1回PTA理事会（19：00～）	25	木	尿検査（1次）
10	水		26	金	
11	木		27	土	ベースボールフェスタ②
12	金		28	日	ベースボールフェスタ①
13	土		29	月	昭和の日
14	日	授業参観・PTA総会・学年懇談・部活動保護者会	30	火	退位の日
15	月	小木地区防災の日 振替休業日			
16	火				

